シリーズ｜人｜企業｜モノ

気さくな街の弁護士さん

板谷 健太郎 さん

ふだん意識していなくても、何か深刻なトラブルに巻き込まれて初めて私たちの生活に密接に関わっていることを知る「法律」。武田法律事務所に勤務する板谷健太郎弁護士のもとには毎日さまざまな人が相談に訪れる。これまで遺産相続、離婚、借金、著作権侵害など、刑事・民事を問わず、あらゆる種類のトラブルを解決してきた。新年度からは長野法人会無料経営相談室の担当弁護士も務める。

「弁護士はサービス業」と言い切る。おもてなしの心で応対しながら、相談者に安心して帰ってもらえるカウンセリングを心がけているという。「病気と一緒で、早く医者にかかれば悪化を防ぐことができます。困ったことは早めにご相談ください」。FMぜんこうじに番組をもつなど、法律相談への敷居を下げ、扉を広く開こうと活動中。気さくなキャラクターが注目され、この春からSBCテレビの番組にもコメンテーターとしてレギュラー出演が決まっている。

「山の景色を見ながら仕事がしたい」と千葉県からIターンして3年。「地域一番弁護士」を目指し、10月からはいよいよ独立して事務所を構える予定だ。

武田法律事務所
長野市西町568-1
TEL（026）233-0345　FAX（026）263-0340

お客さんを第一に考える

ラーメン福龍亭

長野市三輪に店を構える中華料理の福龍亭。店内の壁には数え切れないほどのメニューがずらり。定食の多さにも驚く。

「お客さんの要望に応えてメニューを開発していったらこんなに増えてしまったんですよ」と語る小林良治社長。創業当初はラーメンと餃子だけの店にしようと考えていたが、地域柄サラリーマンが多く、毎日違うものを食べてもらいたいと定食を始めたのがきっかけだそうだ。

名物は「ふくふくラーメン」。ラーメンの上に、なんと大きなトンカツが堂々と乗っている。見た目もお腹もボリューム満点だ。開店して2～3年目に開発以来、かれこれ25年この店の看板メニューとなっている。「でもおすすめは何かと聞かれたら、名物だからってこれをすすめませんよ。だって、お客さんは好みも違うし、お腹の具合も違うでしょ。どんなものがお好きなのか、まず聞かないとね」。小林社長の姿勢はとにかくお客さん本位だ。

材料は次々に値上げされ、厳しい状況だが、しばらくは値段を上げるつもりはないという。サービス券を工夫するなど、お客さんに喜んでもらえるサービスの向上とリピーターづくりにも努力を惜しまない。

ラーメン福龍亭
長野市大字三輪荒屋1169-1
TEL（026）244-8020

狭い場所でも大きな仕事

かにクレーン

前田製作所が開発・製造・販売する、かにクレーン。“脚”となるアウトリガ部を車体横に接地、安定させる様子がかにに似ていることからそう呼ばれるようになった。

もともと石材業社向けに開発されたこの製品は、脚をたたむとクレーンとは思えないほどコンパクトになる。そのため墓地のような狭く足場の悪い場所でも安定したクレーン作業ができる。

そのユニークな形から子どもたちにも大人気だ。子ども向け雑誌などに取り上げられるほか、同社の念願がかなってトミカのミニカーにも採用。発売以来、建設機械では異例の売り上げを誇るという。

大規模工場の生産ラインの入れ替えなど、建設現場以外の込み入った場所での作業にも活用されている。電動ユニットを装着したオプション仕様もあり、排気ガスの心配がいらないため屋内の現場には最適だ。機動力と知名度で他社を引き離し、同タイプ製品の国内シェアは約70％を誇る。

海外でも人気は高く、教会内で大理石を扱う作業に用いられるなど活躍。今後北米でも需要拡大が期待されている。

株式会社前田製作所
長野市篠ノ井御幣川1095
TEL（026）292-2228　FAX（026）293-5590